

今後の公共事業発注者のあり方を考える

(平成28年度全国大会研究討論会)

公共工事発注者のあり方研究小委員会

1 日時、場所

平成28年9月9日 13:00~15:00 東北大学川内北キャンパス B棟 B104

2 テーマ

建設マネジメント委員会は、平成23年8月に公共事業改革プロジェクト小委員会成果報告において「公共事業調達法」を提案し、公共事業調達の抜本改革の方向性を明らかにした。平成26年6月には、品確法（公共工事の品質確保の促進に関する法律）が改正され、これを踏まえて平成26年8月、建設マネジメント委員会は、公共事業執行システム研究小委員会成果報告において、公共工事発注者の役割の見直しや公共工事の価格決定構造の転換などのさらなる改革の道筋を示した。これに引き続いて建設マネジメント委員会は、公共工事発注者のあり方研究小委員会を設置し、これらの課題を検討し、平成28年8月に研究成果を報告したところである。

本討論会では、これらの研究活動を通じて明らかとなった公共事業発注者のあり方について、東北地方の復興事業等における事例を参考にしつつ、さまざまな立場から議論し、今後の改革の道筋を描こうとするものである。

3 パネリスト

座長	木下 誠也	日本大学危機管理学部
話題提供者	福本 勝司	(株)大林組
	遠藤 敏雄	(株)復建技術コンサルタント、 (一社)建設コンサルタンツ協会東北支部長
	後藤 隆一	宮城県土木部
	千葉 嘉春	熱海建設(株)、(一社)宮城県建設業協会会長
	安田 吾郎	国土交通省東北地方整備局
	吉田 正喜	UR都市機構宮城・福島震災復興支援本部

4 定員 100人程度